

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和5年度第3回佐渡市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和5年10月25日(水) 9時30分開会 10時50分閉会
場所	あいぽーと佐渡 多目的ホール
議題	佐渡市地域公共交通計画(第5章及び第6章)について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市副市長 伊貝 秀一 ・佐渡市観光振興部 部長 岩崎 洋昭 ・新潟交通佐渡株式会社(代理出席) 常務取締役 島田 久利 ・佐渡地区ハイヤー協会(代理出席) 事務局 富井 拓郎 ・佐渡汽船株式会社 グループ企画業務部担当部長 本間 裕幸 ・新潟交通労働組合佐渡部会 執行委員長 金子 秀道 ・国土交通省北陸信越運輸局交通政策部(代理出席) 交通企画課 課長補佐 伊藤 健一 (WEB参加) ・新潟県交通政策局(代理出席) 政策企画員 古市 寛之 ・新潟県佐渡地域振興局(代理出席) 計画専門員 浅香 尚文 ・新潟県佐渡警察署(代理出席) 交通課長 富澤 保和 ・佐渡市民生委員児童委員協議会 理事 笹本 芳廣 ・佐渡市女性団体連絡協議会 会長 本間 清美 ・佐渡観光交流機構(代理出席) 総務部副部長 栗山 理恵 ・長岡技術科学大学大学院 教授 佐野 可寸志
オブザーバー	佐渡市社会福祉部社会福祉課 佐渡市社会福祉部高齢福祉課 佐渡市観光振興部観光振興課 佐渡市建設部建設課 佐渡市教育委員会学校教育課
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0名
備考	報道1社

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
事務局	<p>《開会》</p> <p>定刻となりましたので、只今より「令和5年度第3回佐渡市地域公共交通活性化協議会」を開催させていただきます。</p> <p>はじめに、本協議会会長である佐渡市副市長の伊貝からご挨拶を申し上げます。</p>
会長	<p>本日は、ご多用の中ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>本日の協議事項である佐渡市地域公共交通計画については、前回、ご確認いただきました計画の概要、現状と課題の整理を踏まえ、今回は佐渡市の持続可能な公共交通についての基本方針・目標や今後の展開すべき具体的な施策についてご協議いただきます。</p> <p>全国的に運転手不足が社会問題となっておりますが、島内においても運転手不足は深刻な状況であり、事業者や地域と連携しながら、路線バスに代わる、地域で協力して公共交通を支えていく仕組みづくりを早急に進める必要があると考えております。</p> <p>本日は皆様から様々な視点でのご意見をいただき、協議を深めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の出席委員のご紹介については、お手元の委員名簿により代えさせていただきます。</p> <p>また、議事に関する説明員として計画策定業務を委託しているエヌシーイー株式会社様から参加いただいております。</p> <p>それでは、会議を進めさせていただきます。</p> <p>まず、本日の会議の成立についてご報告します。</p> <p>佐渡市地域公共交通活性化協議会設置要綱第5条第2項により、協議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができないとなっておりますが、当協議会の委員は17名、本日の出席委員はWEB参加を含めて14名でありますので、会議が成立することをご報告します。</p> <p>これより議事に入ります。</p> <p>議事の進行については協議会設置要綱第5条の規定に基づき、伊貝会長にお願いします。</p>
会長	<p>次第に従い議事を進めて参ります。</p> <p>本日の協議事項「佐渡市地域公共通計画 第5章、第6章」について、第5章と第6章に分けて進めたいと思います。</p>

事務局	<p>事務局からの説明の後、委員の皆様からご意見をいただきたいと思 います。それでは第5章について事務局説明をお願いします。</p> <p>第5章は、基本方針、佐渡市が目指す公共交通体系や各交通手段の 役割、補助路線に係る事業、目標及び評価指標について、記載して ございます。なお、公共交通体系については今の運転手数も踏まえ 新潟交通佐渡様と協議したものとなっております。 詳細については、NCE(株)からご説明いただきます。</p>
エヌシーイー(株)	資料に基づき説明（第5章）
会長	<p>佐渡市が目指す公共交通体系について第2回でもご審議いただきま したが、5年後、10年後の内容を更に見直ししております。また、 5年後のR10年を目途とした目標及び評価指標等も記載されてお ります。 それでは、委員の皆様からご意見・ご質問等はございますか。</p>
A委員	<p>評価指標①路線バス（幹線）の利用者数で26万人となっているが、 世界遺産で来訪者の増加と言っている訳ですから、できるか分から ないが高校生等と来訪者を分けて目標値を設定したらどうか。また 人口が減っている中で現状維持は難しい訳で、減りながらも頑張っ ていくとか、世界遺産で増えた来訪者をしっかり取り込めるとか、 そのあたりを分けた方が施策の評価に繋がるのでは。 ⑤までは現状維持で、⑥⑦は思い切った目標値になっていていいこ とだと思うが、満足度について、総合満足度という観光地が持つ ている満足度が大きなウェイトを占めてしまう。これからやる調査 については交通手段の満足度を調査した方がよい。 ④の49.9%は中途半端なので50%でよいのではないか。</p>
事務局	<p>①の来訪者について、世界遺産になった暁には観光客が増えると思 定しているので、どの位の観光客が入ってくるのか観光振興課と相 談して、観光で使う予想と地域で使う人の数字を分けて算出根拠と して載せてみたいと思うので検討したい。 ⑥⑦満足度等について、現況が10%と低い数値のため、せめて半分 までもっていききたい。 ④については5年後の目標として切りのいい50%にさせていただ く。 ⑦について、貸切バスを利用した来訪者という観光客寄りのデー タを取っているのでは、このままとさせていただきたい。</p>

A 委員	⑦総合満足度という観光地の満足度が大きくなるので、この満足度が高くなったからといって公共交通の満足度が高くなってと言えないのでは。
事務局	路線バスや貸切バスを利用された方へ直接アンケートを取る機会が必要となるため、それが可能かも踏まえて検討したい。
A 委員	④の収支率について、ホテル業界では海外から来る人は1~2か月前から予約するので、そのあたりは高くして、手前になると安くしている。料金変えるわけにはいかないと思うが、大きな荷物を持っている人は少し高めにするとか、それらも含めて乗車券を発行するとか、収益を高める料金施策も考えていいと思う。
事務局	路線バスの運賃を区間・距離ではなく荷物等によって変えるとなると事務局の範疇ではなく、新潟交通佐渡様の部分になるかと思うので、お答えしかねる。
新潟交通佐渡	路線バスの運賃施策は難しいところもあるが、200円の高齢者割引や定期券の見直し等が考えられると思う。他地域でやっている取組があれば紹介いただきたい。
A 委員	今やっている1日バスで、例えば1,000円のところ荷物が多い人は1,500円とか少し高めに設定してもいいのでは。電車は自転車分も取る。登山用バスで登山バッグに料金とるという話を以前聞いたことはある。島内の人ではなく、外から来て安いと感じている人にもっと払ってもらってはどうか。
B 委員	P2~P3の交通体系のイメージ図について、今回は無かった「減便や休止が予想される路線」の理由、意図について教えていただきたい。
事務局	図については前回から修正を加えている。市と新潟交通佐渡で路線バスの維持について幾度も協議を重ねて、将来的に運転手不足は避けられない問題であり、それも承知した上での図であったが、最低ラインを見越して計画を組む必要があるのではと考えた。 点線部分が将来減便となる可能性がある路線になるが、運転手のシフト等考慮すると運転手不足になった際には地域内デマンドで対応せざるを得ない、という意図もあり、今回変更させていただいた。
C 委員	P4交通手段の役割で、「住民協力による輸送」とは例えばどんなものがあるのか。シェアリングサービスとは何をシェアするものか。

事務局	<p>また、評価指標⑥では満足度現況 10%なのに 50%にするという、将来減便の可能性があるにも関わらず目標値を高めるという整合性について、なぜこの数字になったのか教えていただきたい。</p> <p>住民協力による輸送について、住民の方が移動する際に相乗りできる富山県朝日町のノッカルというサービスがあり、佐渡の沿岸部であれば道沿いに家が並んでいるため、導入の可能性があると考えている。シェアリングサービスはレンタカーや自転車等である。</p> <p>減便されるにも関わらず満足度を 50%に上げる部分について、減便されるのは運転手不足により仕方ないと思っている。減便されれば移動したいときに移動できなくなり満足度は下がっていくものと考えますが、地域内デマンドとして相乗りや地域の方々と相談してダイヤを決めていく等住民の意図を組んだ交通となることが満足度向上に繋がると考えている。</p>
会長	<p>それでは、頂いた意見は計画に反映させるよう事務局で進めてください。</p> <p>続いて「第 6 章」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>第 6 章の施策のイメージは前回の会議でご了承いただいておりますので、これを基に詳細については R 6 から 5 年間で実施する内容を具体的に示しております。詳細は NCE(株)からご説明いただきます。</p>
エヌシーイー(株)	<p>資料に基づき説明（第 6 章）</p>
会長	<p>ただいま「第 6 章」について説明がありました。</p> <p>R 6 年度から 5 年間の事業でございます。事務局案について、ご意見をいただきたい。</p>
A 委員	<p>P3 地域内デマンドについて、デマンドバスとあるがタクシーも含まれると思うのでデマンドバス・タクシーとした方が良いのでは。</p> <p>図の優先度について、3 つある自家用有償をこの順番でやるというよりは、この中で優先順位を決める必要はなくて総合的に考えて一番いいものを選ぶ方が良い。</p> <p>P8 サイネージで、スペース的に難しいかもしれないが、多言語化が出来るが良い。バス停も順番つけて外から来た人にもわかりやすいものにしたらどうか。デジタルチケットも多言語化は必要。</p>
事務局	<p>デマンドバスはタクシーもあるので、デマンドバス・タクシーという表現に変えさせてもらう。</p>

	<p>自家用有償の部分について、優先度をつける必要はないと思うので、その地区に応じたものや地域で取り組みやすい、というような横並びのような形で表現していきたい。</p> <p>P8 情報提供について、世界遺産登録を見据えて多言語化は取り入れていきたい。見やすい表示についても他市事例を参考にしていきたい。</p>
D 委員	<p>P3 自家用有償で3つ並んでいるが、住民協力についてはライドシェアのような個人が主体となった運行は現行制度ではできないので、この住民協力は誰が主体になるのか疑問になった。法改正も見据えたものとなっているのか、位置付けを教えてください。</p> <p>P13 ラストワンマイルモビリティの導入・拡大について、世界遺産登録による来訪者の増加への対応が2つあるが、増加する観光客の数は分からないが、レンタサイクルと観光シャトルバスだけで対応が出来るのか、他に何かないのか</p>
事務局	<p>自家用有償（住民協力型）については、主体となるのは市町村で運行が住民の形で分けとして表現したもので、運行主体となると表現が違うので、どの表現がよいか再度検討します。</p> <p>6-1 レンタサイクルはラストワンマイルとして観光地を周遊するためにどういうものかだと思いが、例えば相川では選鉱場や奉行所・京町等を周遊するバス・タクシーがあってもいいと思うが、今のところはレンタサイクルの拡大を考えている。</p> <p>6-2 は金山に観光客が集中するのを分散することによってオーバーツーリズムを解消したいというもの。シャトルバスで観光地を周遊することで金山一極集中をかわしたい。</p> <p>6-1 と 6-2 は観光振興課と今後詰めていく必要があると思うので、表現が変わるようであれば修正していく。</p>
A 委員	<p>6-2 オーバーツーリズムは別にいらぬのではないかと。タイトルがそもそもラストワンマイルモビリティだから、金山以外のアクセスを良くするだけの話だと思ふ。オーバーツーリズムを出すと分かりづらくなる。ラストワンマイルのアクセス向上みたいなものに絞っていいのでは。</p>
事務局	<p>世界遺産後に観光客が増加するという考えになってしまっているので、観光と一緒に表現を考えていきたい。</p>
B 委員	<p>P3 自家用有償（住民協力型）について、現行道路運送法の観点では交通空白地有償運送として市町村とNPOの2種類の制度が決まっ</p>

	<p>ていて、その中で住民の協力を得て運送することができるという手段になる。制度として住民協力型という表現は好ましくなく使っていない。上段に「住民協力型の自家用有償～」とあるが、「住民の協力を得た自家用有償～」にするとか、また下図優先度に自家用有償で3つあるが、住民協力の部分は独り歩きしてはいけないので、市町村の所から住民協力として矢印を伸ばす等表示の工夫をお願いしたい。</p> <p>P5 免許返納事業の継続については、前回資料第2章で実績が載っていたのでそれを踏まえて継続すると言えるが、P6 高齢者の割引制度については資料に実績が載っていなかったため、実績の数字をあげながら継続していくとした方がよいのでは。</p>
事務局	<p>自家用有償については2種類ということは承知しているので、表現の仕方をご指摘いただいたものに倣って修正したい。</p> <p>高齢者割引について、実績を踏まえて継続していくと踏み込めるよう、実績等確認して読む人に分かりやすいような表現にしていきたいですし、この制度が必要だということが分かるようにしていきたい。</p>
B 委員	<p>協議会の関係について、事前にHPで過去の議事を確認したが、令和3年度以降資料は掲載しているが議事録が掲載されていない。活発な意見が出ているので、市民等へ周知するためにも議事録はぜひ掲載をしていただきたい。</p>
事務局	<p>失礼いたしました。議事概要についても資料と合わせて掲載します。</p>
会長	<p>本日予定している議事は、終了いたしました。 これをもちまして、議長を解任させていただきます。</p>
事務局	<p>議長ありがとうございました。 事務局からその他でご報告です。 南佐渡デマンド実証調査事業を12月1日から試験的に運行する予定。スクールバス混乗も南佐渡区域全7運行で開始を予定しています。 その他として委員の皆様から何かございますか。 ないようでしたら以上をもちまして、令和5年度第3回佐渡市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。 次回は11月頃に地域公共交通計画の素案をお示ししますので協議をお願いします。本日は大変ありがとうございました。 《10:50 閉会》</p>

